

製品安全データシート

愛知県安城市今池町三丁目1番36号

(株)イノアックコーポレーション
発泡品製造部 発泡品品証部

TEL < 0566 > 98-0226

FAX < 0566 > 98-5074

整理No.PEZ-FRFMFB-01

この製品安全データシートはEC Regulation 1907/2006 Annex に基づいて
製品の安全な取り扱いに関する情報を提供します。

1. 物質/生成/会社の特定

1.1 製品名

P・E-ライトZ LDFR ・ LDFM ・ LDFB - 全密度 - 黒 / チャコール / グレー

1.2 製造会社名

ZOTEFOAMS plc

1.3 販売会社

(株)イノアックコーポレーション 発泡品製造部

1.4 緊急時の連絡先

(株)イノアックコーポレーション 発泡品品証部 TEL: < 0566 > 98-0226

2.危険有害性物質の特定

火災の際には分解物質にアクロレイン、アルデヒド類、ハロゲン類、ハロゲン化水素、
アンチモン化合物、一酸化炭素、二酸化炭素を含有する可能性がある。
また、静電気が発生する可能性がある。

3.成分 構成/成分 情報

化学物質名	C A S No.	EINECS No.	リスクフレーズ	%byWt.
ポリエチレン	9002-88-4	n/a	-	75-90
エチレン酢酸ビニル共重合体	24937-78-8	n/a	-	5-12
エチレン共重合体	25750-84-9	n/a	-	5-12
カーボンブラック	1333-86-4	215-609-9	-	0-2
三酸化アンチモン	1309-64-4	215-175-0	R40	1-3
ハロゲン化添加物				2-7

4.応急処置

吸入した場合 : 通常使用においては危険性はなし
皮膚に付着した場合 : 通常使用においては危険性はなし
目に入った場合 : 水で洗う
摂取した場合 : 口をすすぎ、医師の診察を受ける

5.消火措置

水による消火が望ましい。他の消火剤を使用しても良い。
分解物質にはアクロレイン、アルデヒド類、ハロゲン類、ハロゲン化水素、アンチモン化合物
一酸化炭素、二酸化炭素を含有する可能性がある。

6.漏出時の措置

問題なし

7.取り扱い及び保管上の注意

1) 取り扱い

粉塵やガスが発生する可能性があるため、十分な換気と排気設備を施す。
帯電性が高いため、必要に応じて静電気対策を施す。

2) 保管

直射日光、高温多湿を避け、冷暗所で重量物を上に積載しないようにして保管する。
また、指定可燃物として消防法に定められた通り保管する。

8.暴露防止措置

特に注意は必要なし。

9.物理/化学的特性

9.1 基本特性

外観 : 発泡体
臭い : なし

9.2 特定特性

引火点 : > 300
燃焼温度 : > 300
分解
爆発性 : なし
蒸気圧 : 非該当
密度 :
ポリマー : 0.92g/cm³
発泡体 : 0.015 ~ 0.045g/cm³
水溶性 : 不溶

9.3 その他の情報

融点 : 107 by DSC

10.安定性/反応性

- 1) 注意すべき周辺環境 : 発火の恐れのあるものとの接触
300 以上で分解する恐れ有り。
- 2) 注意すべき接触物質 : 強い酸化物
- 3) 危険な分解物質 : 分解物質にはアクロレイン、ハロゲン類、アルデヒド類、
ハロゲン化合物とアンチモン化合物を含有する可能性がある。

11.毒物的情報

毒性作用の知見はありません。

12.生態的情報

材料は不活性で水に溶解しません。

13.廃棄上の注意

- 1) 許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
- 2) 高熱に耐えうる専用の焼却炉で焼却する。
- 3) リサイクルは可能です。

14.輸送情報

- | | |
|---|--------|
| 1) 国際海上危険物規則 (IMDG) | 非危険物扱い |
| 2) 航空機による危険物品の安全輸送における
国際民間航空機関からの技術指令 (ICOA/IATA) | 非危険物扱い |
| 3) 鉄道による危険物品の国際輸送に関する規制 (欧州法:RID) | 非危険物扱い |
| 4) 陸路による危険物品の国際輸送に関する規制 (ADR) | 非危険物扱い |

15.調整情報 :

なし

16.その他の情報 :

- 1) リスクフレーズ
技術情報を参照のこと
- 2) 技術情報
CHIPの規定で、三酸化アンチモンはカテゴリー3の発ガン物質に分類され
リスクフレーズ40(不可逆効果の危険性)と
安全フレーズ22-36(ほこりを吸い込まないで保護に適した服装を着用の事)に該当
Plastazote FRフォームは3%以下の三酸化アンチモンが含有している。
このフォームでは摂取や吸入又は、皮膚の接触により人体への健康に
危険があるとは考えられない。それ自体においては無害レベルがPlastazote FRフォーム
(別表4のCHIPに関する規定104参照)に要求される。

機械特性、物理的特性についてはお問い合わせください。

- 3) 改訂について
下記 規定のアップデートに準じる。
 - ・用途の追加
 - ・EINECSナンバーの追加
 - ・リスクフレーズの追加
 - ・必要に応じて、REACH規制を参照

免責

Plastazot® Evazote® Supazot® Propozot® はZotefoams社の登録商標です。

このMSDSの内容はZOTEFOAMS社の英文を翻訳したものであり基本的にはZOTEFOAMS社の英文が正規となります。